

令和2年4月30日

厚木市長 小林常良様

厚木市議会議員 高田 浩

ビデオ通話の活用開始を/3密抑制/時間の効率化  
申出書/新型コロナ対策

「インターネットテレビ電話」として使えるソフトウェアが幾つもあります。実際に会う必要がなくなることから、新型コロナウイルス対策となります。また、働き方改革の具体的な手法ともなり得ます。導入開始を提案します。

1. 対象 ・最初から全ての市職員を対象とするか ・まずは、一部の市職員を対象とするか(例:本庁舎と各公民館等の施設間)
2. ソフトウェア それぞれの特性とセキュリティ
3. 予算 タブレット(通信契約なし)、パソコン用のヘッドセットやウェブカメラ、Wi-Fi 整備

以下は、大事な視点だと思われます。

1. 「会ってすべきこと」と「短時間のビデオ通話で済むこと」を切り分ける
2. 非言語コミュニケーションと参加人数
3. 不慣れな市職員には、周囲が手助けする
4. 楽しさの発見

厚木市には、本庁舎以外にも公民館や小中学校、市立病院、環境センター等の様々な施設があります。各施設と本庁舎間の移動回数が減少することによって、勤務時間を有効に使うことが出来るはずです。

また、チャットをコミュニケーション手段として利用することにより、会議の段取り等にも効率化が望めます。

ご検討下さいますようお願い申し上げます。